

リエぞん



編集・発行
独立行政法人 国立病院機構
奈良医療センター
<http://www.nho-nara.jp>

Liaison

Vol.24

国立病院機構 奈良医療センター

平成26年1月

医療機関の皆様へ 「リエぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。
奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで付けました。

明けましておめでとうございます

当院は、昭和25年結核病床200床からスタートして、早64年目を迎えようとしています。その結核患者数が、当時の10%前後になっている現状があります。

今昔の思いが強くなるなか、昨年10月に新病棟「さくら」250床が完成しました。時代とともにあらたな展開が求められています。重症心身障がい児(者)のために100床、神経・筋難病にも100床、慢性期疾患の充実をはかるとともに、呼吸器疾患、てんかん、機能的脳神経外科への専門性、特化をめざしていきます。



院長 星田 徹

新病棟「さくら」の運用を確実なものとするために、今年早々からIT化元年としてまず電子カルテ化に臨むことになりました。さらに、今後の奈良医療センター整備をプランニングする重要な位置づけの年でもあります。

今までの短期入所、レスパイト入院のみならず在宅医療・療養の支援の方向として、今年から通所事業を開始することになりました。自分たちのやれる医療、やりたい医療だけでなく、当院が求められているやるべき医療を職員の協力の基に押し進めることにしています。新年早々に奈良県の荒井正吾知事を結核病棟・「さくら」新病棟にお迎えして、さらに一層当院の役割である、政策医療、奈良県内の独自の医療・福祉、さらに地域に根ざした医療提供を再認識した次第であります。思いも新たに、今年も宜しくお願い致します。

奈良県荒井正吾知事が来訪されました



独立行政法人 国立病院機構
奈良医療センター
地域医療連携室

〒630-8053
 奈良市七条2丁目789
 TEL.0742-45-4591 (代表)
 TEL.0742-45-1563 (直通)
 FAX.0742-45-4901 (直通)

